

# 末吉里花さん

## 人、環境、社会、地域への「思いやり」 それが「エシカル」

今、「エシカル」という言葉が注目を集めています。「エシカル」とはもとも「倫理的・道徳的」という意味の言葉で、環境や社会に配慮した製品を選んで消費することです。「世界ふしぎ発見！」のミステリーハンターとして世界の秘境を旅したことで環境問題への意識が高まり、「一般社団法人エシカル協会」を設立した末吉里花さんに、エシカルとは何か、そしてエシカルを生活に取り入れる方法について聞きました。



### 「秘境」で目の当たりにした 地球温暖化の現実

子どものころから自然は大好きでしたが、特に環境問題への意識が高いわけではなく、ファッションと映画が好きなく普通の学生でした。転機になったのは、テレビ番組『世界ふしぎ発見!』でミステリーハンターを務めたことで

す。お腹が丈夫でどこでも寝られる私は、いわゆる「秘境」に行くことが多く、それまで単なる知識でしかなかった「地球温暖化」を目の当たりにしました。シベリアでは、温暖化で永久凍土がとけて家が傾き、暮らせなくなっている人たちがいることを知りました。サハラ砂漠の遊牧民からは「オアシスが年々小さくなっている」と

いう話を聞きました。そして極め付きが2004年のアフリカ最高峰キリマンジャロ登山です。もとは山頂を覆っていたはずの水河が、ほんのわずかしが残っていませんでした。一部の人の利益や豊かさを求める行動が、自然や立場の弱い人々の生活を脅かしている現実を知り、「このままではいいのかな」と考えるようになりました。

とはいえ、はじめは何をすればいいのか分からず、ゴミ拾いや植林活動に参加しながら自分にできることを考えていました。そんなときに「フェアトレード」に出合います。フェアトレードとは、環境や人権に配慮した商品を適正な価格で輸入し、現地の生産者に十分な利益を渡し自立を目指す仕組みです。日本のフェアトレードの草分けであるファッションブランド「ピープルツリー」の創業者、サ

に、そのとき私も被災地のために何ができるかを考えました。さらに被災地はもちろん、過疎が進む地域や障がいのある人なども応援できる仕組みがあれば…と考えたとき、当てはまったのが「エシカル」でした。

### 無理せずできることから 生活に「エシカル」を

ファイア・ミニーさんの「ファッションで世界を変える」という考えに感銘を受けた私は、そこからフェアトレードにのめり込みました。次の大きな転機は東日本大震災です。多くの人がそうだったよう

エシカルとは、「人や地球環境、社会、地域に思いやりのあるお金の使い方やライフスタイル」のことです。間口が広すぎてちよっと分かりにくいのですが、例えばフェアトレードもエシカルの一つです。他には、被災地の産品を積極

的に購入する応援消費、オーガニック、地産地消、動物福祉、障がい者がつくったものを買うこと、リサイクルもすべてエシカルです。「エシカルなもの高いし手に入りにくい」という声をよく聞きます。現実的にエシカルなものだけで生活するのは難しいので、無理せずできることをやればいいと思います。なるべく近くで採れた野菜を買う。選択肢があるときはオーガニックを選ぶ。今持っているものを長く大切に使うだけでもエシカルです。よく行くお店にエシカルな商品がないときは、「フェアトレード製品を置いてほしい」と要望を出すのも効果的です。実際に大手小売りチェーンが消費者の声をきっかけにフェアトレード製品を取り扱い始めた例もあります。私たち消費者は、実は大きな力を持っているのです。

### 若い世代の消費が 世界を変えていく

今、私は月に数回のペースで全国の学校などに出向き、エシカル

の話をしています。話を聞いた生徒の中には、自ら学校に働きかけて卒業証書を「バナナペーパー」という日本初のフェアトレード認証の紙に変えた高校もあり、少しずつではありますが、エシカルが広まってきていると実感しています。特に若い世代に知ってもらい、彼らの消費を変えていくことが大切だと思います。いずれは義務教育の教科書に「エシカル」が載り、大人になるまでに全員がエシカルについて学べるようにしたいですね。



協会主催のエシカル・コンシェルジュ講座の様子。幅広い年齢層の人たちがエシカルについて学んでいる（写真提供：エシカル協会）

Bangladesh のフェアトレード製品生産者を訪ねて。一つひとつ手間と愛情をかけてつくられている（写真提供：ピープルツリー）



末吉さんが愛用しているエシカルなポーチ。アルミ缶のプラスチックをアップサイクルして、ブラジルの貧困層の女性たちが作っている（本人私物）